

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2024年12月10日まで（2015年3月30日設定）	
運用方針	アセアン真成長株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてアセアン諸国の株式等（預託証券（DR）を含みます。）に実質的な投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドの運用にあたっては、三菱UFJ国際投信の香港現地法人であるMitsubishi UFJ Investment Services (HK) Limitedから投資助言を受け、三菱UFJ国際投信が運用します。	
主要運用対象	ベビーファンド	アセアン真成長株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アセアン諸国の株式等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。） </div>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

運用報告書（全体版）

アセアン真成長株式ファンド （ラップ向け）

第6期（決算日：2017年12月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「アセアン真成長株式ファンド（ラップ向け）」は、去る12月11日に第6期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル

TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数）		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	（分配落）	税込分配	み期騰落中率	MSCI AC ASEAN Index （円換算ベース）	期騰落中率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
2期(2015年12月10日)	8,201	0	△16.3	79,380.81	△17.8	95.7	—	121
3期(2016年6月10日)	7,955	0	△3.0	75,652.23	△4.7	95.6	—	226
4期(2016年12月12日)	8,318	0	4.6	79,757.44	5.4	96.9	—	234
5期(2017年6月12日)	8,686	0	4.4	84,938.83	6.5	96.7	—	23
6期(2017年12月11日)	10,056	0	15.8	93,813.53	10.4	95.9	—	25

- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) MSCI AC ASEAN Indexとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国の株式で構成されています。MSCI AC ASEAN Index（円換算ベース）は、MSCI AC ASEAN Indexをもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI AC ASEAN Indexに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2017年6月12日	円	%		%	%	%
	8,686	—	84,938.83	—	96.7	—
6月末	8,828	1.6	86,597.28	2.0	95.0	—
7月末	8,919	2.7	87,174.29	2.6	93.7	—
8月末	9,059	4.3	87,027.52	2.5	95.5	—
9月末	9,422	8.5	88,712.87	4.4	94.8	—
10月末	9,845	13.3	91,099.46	7.3	94.4	—
11月末	9,937	14.4	92,672.07	9.1	95.3	—
(期 末) 2017年12月11日	10,056	15.8	93,813.53	10.4	95.9	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

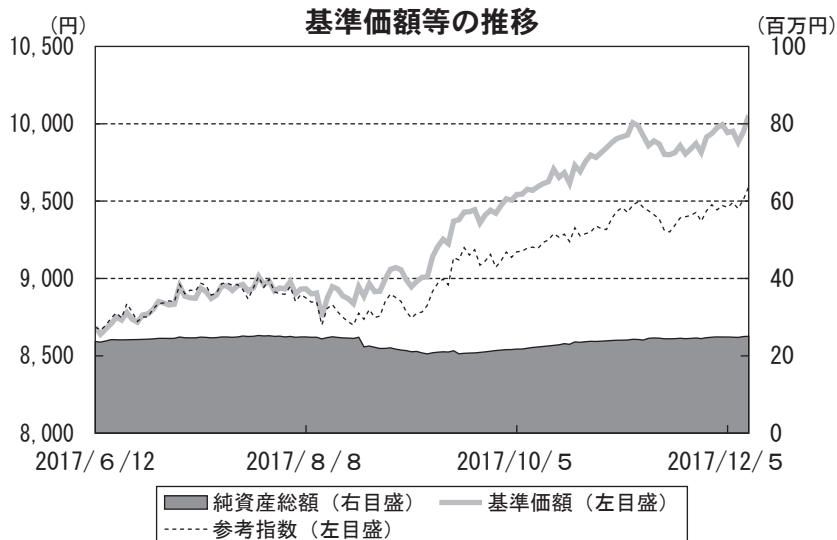
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第6期：2017/6/13～2017/12/11）

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ15.8%の上昇となりました。



基準価額の主な変動要因

上昇要因

アセアン株式市況が、タイやシンガポールの株式市場に牽引されて上昇したことや、アセアンの通貨が対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第6期：2017/6/13～2017/12/11）

◎アセアン株式市況

- ・アセアン株式市場は、期を通じて上昇しました。期初には、2017年7月にイエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長が議会証言で金融引き締めを緩やかに行うことを示唆したことを受けて、投資家のリスク資産に対する投資意欲が回復し、米国株式相場に連動する形で上昇しました。その後も、米国およびアジアでの堅調なマクロ経済指標や企業業績の発表を受けて、堅調な値動きとなりました。
- ・国別では、タイとシンガポールの上昇が大きくなりました。タイは、政情安定化期待やファンダメンタルズの改善が上昇に寄与しました。シンガポールは、景気指標の改善に加えて、業績改善見通しが高まった銀行株の上昇が貢献しました。一方、マレーシアは、全体的に冴えない企業決算発表を受けて下落しました。
- ・アセアンの通貨は、円が米ドルを含む主要通貨に対して下落したため、対円では上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜アセアン真成長株式ファンド（ラップ向け）＞

- ・アセアン真成長株式マザーファンド受益証券を通じてアセアン諸国の株式に投資しました。

＜アセアン真成長株式マザーファンド＞

基準価額は期首に比べ16.5%の上昇となりました。

- ・アセアン地域に関しては、人口動態や所得増加を背景に、構造的な個人消費の成長やインフラ投資の増加が期待される中、中長期的な業績成長性を重視した銘柄選定を行いました。また、個別銘柄の組入比率は業績成長の確信度も考慮し決定しました。
- ・組入銘柄数は、概ね50銘柄程度で推移させました。期中に、業績減速懸念が高まった銘柄を売却し、業績の改善および拡大が期待できる銘柄への入替を実施しました。
- ・個別に銘柄をみると、インドネシアやタイにおいて内需拡大の恩恵を受けると判断した消費関連銘柄や、構造要因を背景に成長を続けるマレーシアの情報技術関連銘柄に重点的に投資を行いました。特にタイの小売であるCP ALL PCL-NVDRは、安定的な需要拡大を背景に出店による持続的な成長が期待できると判断し、期首より高めの組入比率を維持しました。
- ・上記投資行動の結果、タイやシンガポールなどの株式市場の上昇およびアセアンの通貨が対円で上昇したことから、基準価額は上昇しました。

・当期の基準価額に影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

（上昇銘柄）

- ・ BEAUTY COMMUNITY PCL-NVDR（タイ、小売）：タイを中心に独自ブランドの化粧品やスキンケア商品を直営小売店や提携先で展開しています。直営店舗の出店拡大に加え国内外への卸ビジネスの成長が目覚しく、業績が大きく伸びました。卸ビジネスの拡大に伴う営業利益率の改善が決算で確認されたことから、今後の成長に対する期待感も高まり株価は上昇しました。
- ・ V. S. INDUSTRY BERHAD（マレーシア、テクノロジー・ハードウェアおよび機器）：マレーシアにおいて電子機器受託製造サービスに従事しています。成長著しい世界的な家電ブランドからの受注が拡大しています。また、受注拡大に合わせた生産能力の増強計画が明らかにされたことから、市場の業績見通しが大きく引き上げられ、株価が大きく上昇しました。

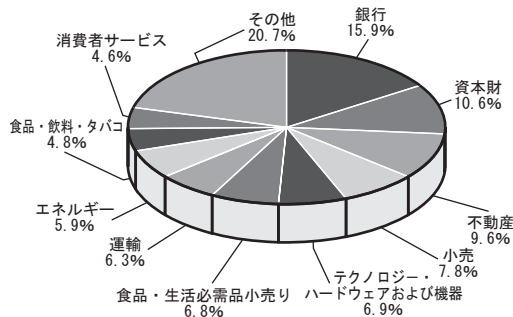
（下落銘柄）

- ・ SINGAPORE O&G LTD（シンガポール、ヘルスケア機器・サービス）：シンガポールにおいて産科、婦人科など女性向けのクリニックを展開しています。2016年に流行したジカ熱を背景に出生率が一時的に低下したため業績が悪化し株価は下落しました。しかしながら中長期の成長ストーリーに変化がないことや、今後は回復が想定されることから保有を継続しています。

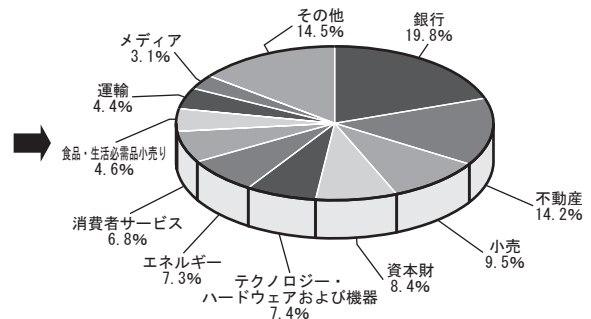
（ご参考）

組入上位10業種

期首（2017年6月12日）



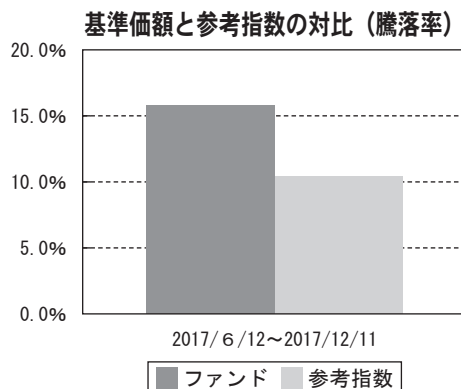
期末（2017年12月11日）



（注）比率は現物株式評価額に対する割合です。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はMSCI AC ASEAN Index（円換算ベース）です。



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第6期
	2017年6月13日～2017年12月11日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,040

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<アセアン真成長株式ファンド（ラップ向け）>

◎今後の運用方針

- ・マザーファンドを高位に組み入れる方針です。

<アセアン真成長株式マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・米国の金融政策や米国長期金利動向は、当地域における投資家資金フローに影響を与えるため、引き続きアセアン株式相場の攪乱要因となる可能性が高いと考えます。しかしながら、アセアン地域の実体経済は、域内の政府主導のインフラ投資、中国をはじめとした世界経済の回復に歩調を合わせ、回復軌道にあります。アセアンの企業業績は、このようなマクロ経済の回復を背景に、着実に増益基調を継続する見込みです。従いまして、中期的には企業業績成長やマクロ経済の改善を反映した堅調な相場展開を想定しています。

◎今後の運用方針

- ・このような見通しを背景に、安定して成長を遂げる企業群に着目したファンド運営を行う方針です。引き続き、消費、インフラ関連銘柄や構造要因を背景に成長を続ける情報技術関連銘柄などを中心とした銘柄選別に注力し、運用方針に即した銘柄への投資を継続します。
- ・独自開発のスクリーニングモデルを活用しつつ、財務分析などの定量調査、企業訪問をはじめとする定性調査を実施し、コンセプトとしている将来にわたって安定して事業が成長すると見込まれる銘柄の選定を行うことで、中長期的な値上がり益の獲得をめざす方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2017年6月13日～2017年12月11日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	45	0.483	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× （期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	（ 40 ）	（ 0.429 ）	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 3 ）	（ 0.027 ）	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 3 ）	（ 0.027 ）	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	28	0.296	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（ 株 式 ）	（ 28 ）	（ 0.296 ）	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	6	0.065	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	（ 6 ）	（ 0.065 ）	
(d) そ の 他 費 用	21	0.221	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 20 ）	（ 0.218 ）	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（ 0.001 ）	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（ 0.001 ）	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	100	1.065	
期中の平均基準価額は、9,335円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年6月13日～2017年12月11日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
アセアン真成長株式マザーファンド	千口 3,346	千円 3,740	千口 5,465	千円 5,809

○株式売買比率

(2017年6月13日～2017年12月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	アセアン真成長株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,752,497千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,143,996千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.53

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年6月13日～2017年12月11日)

利害関係人との取引状況

<アセアン真成長株式ファンド（ラップ向け）>

該当事項はございません。

<アセアン真成長株式マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A		うち利害関係人との取引状況 D	D/C	
株式	百万円 1,479	百万円 33	% 2.2	百万円 273	百万円 -	% -

平均保有割合 1.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	69千円
うち利害関係人への支払額 (B)	1千円
(B) / (A)	1.8%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年6月13日～2017年12月11日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 10	百万円 —	百万円 —	百万円 10	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2017年12月11日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
アセアン真成長株式マザーファンド	千口 23,135	千口 21,016	千円 24,991

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年12月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
アセアン真成長株式マザーファンド	千円 24,991	% 98.5
コール・ローン等、その他	371	1.5
投資信託財産総額	25,362	100.0

(注) アセアン真成長株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(2,130,309千円)の投資信託財産総額(2,233,576千円)に対する比率は95.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.65円	1 シンガポールドル=83.97円	1 マレーシアリングギット=27.81円	1 タイバーツ=3.48円
1 フィリピンペソ=2.25円	100 インドネシアルピア=0.84円	100 ベトナムドン=0.50円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年12月11日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	25,362,910
コール・ローン等	219,677
アセアン真成長株式マザーファンド(評価額)	24,991,260
未収入金	151,973
(B) 負債	314,121
未払解約金	199,596
未払信託報酬	114,184
その他未払費用	341
(C) 純資産総額(A-B)	25,048,789
元本	24,909,330
次期繰越損益金	139,459
(D) 受益権総口数	24,909,330口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,056円

<注記事項>

- ①期首元本額 27,256,567円
 期中追加設定元本額 4,481,395円
 期中一部解約元本額 6,828,632円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0056円です。

②分配金の計算過程

項 目	2017年6月13日～ 2017年12月11日
費用控除後の配当等収益額	181,921円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	2,897,849円
収益調整金額	792,372円
分配準備積立金額	1,210,381円
当ファンドの分配対象収益額	5,082,523円
1万口当たり収益分配対象額	2,040円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

- ①よりわかりやすい記載を目的として目論見書の特徴の分配方針に「分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）」を掲載しました。
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

○損益の状況（2017年6月13日～2017年12月11日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	3,194,295
売買益	3,446,807
売買損	△ 252,512
(B) 信託報酬等	△ 114,525
(C) 当期損益金(A+B)	3,079,770
(D) 前期繰越損益金	1,210,381
(E) 追加信託差損益金	△4,150,692
(配当等相当額)	(789,008)
(売買損益相当額)	(△4,939,700)
(F) 計(C+D+E)	139,459
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	139,459
追加信託差損益金	△4,150,692
(配当等相当額)	(792,372)
(売買損益相当額)	(△4,943,064)
分配準備積立金	4,290,151

- (注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

アセアン真成長株式マザーファンド

《第7期》決算日2017年12月11日

[計算期間：2017年6月13日～2017年12月11日]

「アセアン真成長株式マザーファンド」は、12月11日に第7期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	アセアン諸国の株式等（預託証書（DR）を含みます。以下同じ。）を主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。株式等への投資にあたっては、事業の安定性・成長性等に着目して銘柄選定を行います。株式等の組入比率は原則として高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用にあたっては、三菱UFJ国際投信の香港現地法人であるMitsubishi UFJ Investment Services (HK) Limitedから投資助言を受け、三菱UFJ国際投信が運用します。
主要運用対象	アセアン諸国の株式等を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		（参考指数）		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	円	騰落中率	MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース)	騰落中率			
3期(2015年12月10日)	9,257	△14.9%	79,380.81	△17.8%	95.9%	—	1,209百万円
4期(2016年6月10日)	9,029	△2.5%	75,652.23	△4.7%	96.0%	—	1,127
5期(2016年12月12日)	9,490	5.1%	79,757.44	5.4%	97.1%	—	1,060
6期(2017年6月12日)	10,209	7.6%	84,938.83	6.5%	96.9%	—	779
7期(2017年12月11日)	11,891	16.5%	93,813.53	10.4%	96.1%	—	2,213

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI AC ASEAN Indexとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国の株式で構成されています。MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース) は、MSCI AC ASEAN Indexをもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI AC ASEAN Indexに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース)	騰 落 率	Index		
(期 首) 2017年6月12日	円	%	84,938.83	%	%	%
6 月 末	10,209	—	86,597.28	—	96.9	—
7 月 末	10,381	1.7	87,174.29	2.0	95.2	—
8 月 末	10,498	2.8	87,027.52	2.5	93.9	—
9 月 末	10,676	4.6	88,712.87	4.4	95.7	—
10 月 末	11,117	8.9	91,099.46	7.3	94.6	—
11 月 末	11,630	13.9	92,672.07	9.1	95.5	—
(期 末) 2017年12月11日	11,747	15.1	93,813.53	10.4	96.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

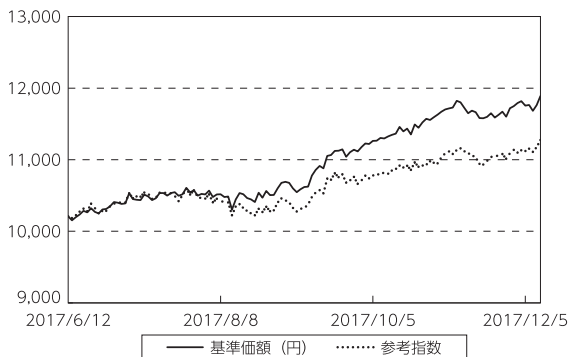
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ16.5%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎アセアン株式市況

- ・アセアン株式市場は、期を通じて上昇しました。期初には、2017年7月にイエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長が議会証言で金融引き締めを緩やかにを行うことを示唆したことを受けて、投資家のリスク資産に対する投資意欲が回復し、米国株式相場に連動する形で上昇しました。その後も、米国およびアジアでの堅調なマクロ経済指標や企業業績の発表を受けて、堅調な値動きとなりました。
- ・国別では、タイとシンガポールの上昇が大きくなりました。タイは、政情安定化期待やファンダメンタルズの改善が上昇に寄与しました。シンガポールは、景気指標の改善に加えて、業績改善見通しが高まった銀行株の上昇が貢献しました。一方、マレーシアは、全体的に冴えない企業決算発表を受けて下落しました。
- ・アセアンの通貨は、円が米ドルを含む主要通貨に対して下落したため、対円では上昇しました。

- 当該投資信託のポートフォリオについて
 - ・アセアン地域に関しては、人口動態や所得増加を背景に、構造的な個人消費の成長やインフラ投資の増加が期待される中、中長期的な業績成長性を重視した銘柄選定を行いました。また、個別銘柄の組入比率は業績成長の確信度も考慮し決定しました。
 - ・組入銘柄数は、概ね50銘柄程度で推移させました。期中に、業績減速懸念が高まった銘柄を売却し、業績の改善および拡大が期待できる銘柄への入替を実施しました。
 - ・個別に銘柄をみると、インドネシアやタイにおいて内需拡大の恩恵を受けると判断した消費関連銘柄や、構造要因を背景に成長を続けるマレーシアの情報技術関連銘柄に重点的に投資を行いました。特にタイの小売であるCP ALL PCL-NVDRは、安定的な需要拡大を背景に出店による持続的な成長が期待できると判断し、期首より高めの組入比率を維持しました。
 - ・上記投資行動の結果、タイやシンガポールなどの株式市場の上昇およびアセアンの通貨が対円で上昇したことから、基準価額は上昇しました。
 - ・当期の基準価額に影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

(上昇銘柄)

- ・BEAUTY COMMUNITY PCL-NVDR (タイ、小売)：タイを中心に独自ブランドの化粧品やスキンケア商品を直営小売店や提携先で展開しています。直営店舗の出店拡大に加え国内外への卸ビジネスの成長が目覚しく、業績が大きく伸びました。卸ビジネスの拡大に伴う営業利益率の改善が決算で確認されたことから、今後の成長に対する期待感も高まり株価は上昇しました。
- ・V. S. INDUSTRY BERHAD (マレーシア、テクノロジー・ハードウェアおよび機器)：マレーシアにおいて電子機器受託製造サービスに従事しています。成長著しい世界的な家電ブランドからの受注が拡大しています。また、受注拡大に合わせた生産能力の増強計画が明らかにされたこと

から、市場の業績見通しが大きく引き上げられ、株価が大きく上昇しました。

(下落銘柄)

- ・SINGAPORE O&G LTD (シンガポール、ヘルスケア機器・サービス)：シンガポールにおいて産科、婦人科など女性向けのクリニックを展開しています。2016年に流行したジカ熱を背景に出生率が一時的に低下したため業績が悪化し株価は下落しました。しかしながら中長期の成長ストーリーに変化がないことや、今後は回復が想定されることから保有を継続しています。

◎今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・米国の金融政策や米国長期金利動向は、当地域における投資家資金フローに影響を与えるため、引き続きアセアン株式相場の攪乱要因となる可能性が高いと考えます。しかしながら、アセアン地域の実体経済は、域内の政府主導のインフラ投資、中国をはじめとした世界経済の回復に歩調を合わせ、回復軌道にあります。アセアンの企業業績は、このようなマクロ経済の回復を背景に、着実に増益基調を継続する見込みです。従いまして、中期的には企業業績成長やマクロ経済の改善を反映した堅調な相場展開を想定しています。

◎今後の運用方針

- ・このような見通しを背景に、安定して成長を遂げる企業群に着目したファンド運営を行う方針です。引き続き、消費、インフラ関連銘柄や構造要因を背景に成長を続ける情報技術関連銘柄などを中心とした銘柄選別に注力し、運用方針に即した銘柄への投資を継続します。
- ・独自開発のスクリーニングモデルを活用しつつ、財務分析などの定量調査、企業訪問をはじめとする定性調査を実施し、コンセプトとしている将来にわたって安定して事業が成長すると見込まれる銘柄の選定を行うことで、中長期的な値上がり益の獲得をめざす方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年6月13日～2017年12月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 40 (40)	% 0.368 (0.368)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	9 (9)	0.080 (0.080)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	25 (25) (0)	0.227 (0.226) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	74	0.675	
期中の平均基準価額は、11,008円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年6月13日～2017年12月11日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	シンガポール	百株 19,879	千シンガポールドル 5,359	百株 6,339	千シンガポールドル 1,369
	マレーシア	13,266 (352)	千マレーシアリングギット 5,593 (-)	3,957	千マレーシアリングギット 1,462
	タイ	56,859	千タイバーツ 114,679	14,231	千タイバーツ 16,773
国	フィリピン	13,179	千フィリピンペソ 89,099	5,716	千フィリピンペソ 19,203
	インドネシア	181,605 (21,620)	千インドネシアルピア 35,395,080 (-)	15,792	千インドネシアルピア 2,821,746

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2017年6月13日～2017年12月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,752,497千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,143,996千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.53

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年6月13日～2017年12月11日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
株式	百万円 1,479	百万円 33	2.2	百万円 273	百万円 -	-

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	4,363千円
うち利害関係人への支払額 (B)	95千円
(B) / (A)	2.2%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2017年12月11日現在)

外国株式

銘柄	株数	当期		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(シンガポール)	百株	百株	千シンガポールドル	千円		
OVERSEA-CHINESE BANKING CORP	381	1,015	1,257	105,599	銀行	
SEMBORP INDUSTRIES LTD	691	—	—	—	資本財	
CAPITALAND LTD	636	1,498	518	43,522	不動産	
DBS GROUP HOLDINGS LTD	247	670	1,664	139,749	銀行	
KEPPEL CORP LTD	473	1,171	895	75,221	資本財	
VENTURE CORP LTD	160	245	496	41,680	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
SINGAPORE TECH ENGINEERING	483	—	—	—	資本財	
GENTING SINGAPORE PLC	—	2,656	350	29,439	消費者サービス	
SATS LTD	—	664	349	29,327	運輸	
SHENG SIONG GROUP LTD	1,980	—	—	—	食品・生活必需品小売り	
SINGAPORE O&G LTD	1,868	4,535	201	16,945	ヘルスケア機器・サービス	
VALUETRONICS HOLDINGS LTD	2,353	5,595	500	42,048	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
GUOCOLAND LTD	—	1,716	374	31,412	不動産	
APAC REALTY LTD	—	3,047	263	22,131	不動産	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	9,272 10	22,812 11	6,872 —	577,077 <26.1%>	
(マレーシア)			千マレーシアリンギット			
GENTING MALAYSIA BHD	1,237	2,697	1,415	39,376	消費者サービス	
PADINI HOLDINGS BERHAD	1,077	1,276	653	18,168	小売	
GENTING PLANTATIONS BHD	369	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
GLOBETRONICS TECHNOLOGY BHD	772	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
MY EG SERVICES BHD	1,959	1,955	398	11,091	ソフトウェア・サービス	
QL RESOURCES BHD	1,110	3,014	1,302	36,215	食品・飲料・タバコ	
ECONPILE HOLDINGS BHD	1,350	3,523	1,092	30,372	資本財	
UZMA BHD	1,849	—	—	—	エネルギー	
SCIENTEX BHD	605	2,102	1,837	51,091	素材	
INARI AMERTRON BHD	1,749	3,593	1,157	32,179	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
V. S. INDUSTRY BERHAD	2,092	4,840	1,461	40,649	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
HAI-O ENTERPRISE BHD	970	1,800	954	26,530	小売	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	15,139 12	24,801 9	10,272 —	285,675 <12.9%>	
(タイ)			千タイバート			
CP ALL PCL-NVDR	1,204	2,334	17,388	60,511	食品・生活必需品小売り	
SIAM COMMERCIAL BANK P-NVDR	304	815	12,306	42,826	銀行	
PTT PCL-NVDR	189	396	16,711	58,154	エネルギー	
AIRPORTS OF THAILAND PC-NVDR	934	2,235	13,968	48,611	運輸	
THAI OIL PCL-NVDR	—	1,434	14,232	49,528	エネルギー	
BANGKOK CHAIN HOSPITAL-NVDR	—	6,225	9,897	34,444	ヘルスケア機器・サービス	
MK RESTAURANTS GROUP - NVDR	412	899	7,281	25,341	消費者サービス	
RS PCL-NVDR	—	2,425	5,989	20,844	メディア	
ROBINSON PCL-NVDR	387	585	4,255	14,810	小売	
BEAUTY COMMUNITY PCL-NVDR	3,310	4,911	9,822	34,180	小売	
CHULARAT HOSPITAL PCL-NVDR	10,457	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
PYLON PCL-NVDR	1,789	4,073	6,109	21,261	資本財	
CH. KARNCHANG PUBLIC CO-NVDR	987	—	—	—	資本財	
FORTH SMART SERVICE PCL-NVDR	2,112	5,180	8,961	31,185	ソフトウェア・サービス	

銘柄	株数	期首(前期末)		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(タイ)	百株	百株	千タイバーツ	千円		
SRISAWAD CORP PCL-NVDR	843	—	—	—	—	各種金融
TPI POLENE POWER PCL-NVDR	—	18,838	14,976	52,117	—	資本財
PLAN B MEDIA PCL-NVDR	—	12,730	8,274	28,795	—	メディア
MUANGTHAI LEASING PCL-NVDR	—	2,476	9,532	33,173	—	各種金融
小計	株数・金額	22,928	65,556	159,708	555,786	
	銘柄数<比率>	12	15	—	<25.1%>	
(フィリピン)			千フィリピンペソ			
SM PRIME HOLDINGS INC	—	3,254	11,877	26,723	—	不動産
AYALA LAND INC	3,101	9,557	41,095	92,463	—	不動産
INTL CONTAINER TERM SVCS INC	792	—	—	—	—	運輸
JOLLIBEE FOODS CORP	179	913	22,730	51,143	—	消費者サービス
BDO UNIBANK INC	—	953	14,104	31,734	—	銀行
D&L INDUSTRIES INC	4,291	—	—	—	—	素材
ROBINSONS RETAIL HOLDINGS IN	603	1,752	16,274	36,618	—	食品・生活必需品小売り
小計	株数・金額	8,967	16,430	106,081	238,683	
	銘柄数<比率>	5	5	—	<10.8%>	
(インドネシア)			千インドネシアルピア			
TELEKOMUNIKASI INDONESIA PER	8,528	11,857	4,908,798	41,233	—	電気通信サービス
BANK RAKYAT INDONESIA PERSER	2,663	35,672	12,021,464	100,980	—	銀行
UNITED TRACTORS TBK PT	606	1,733	5,701,570	47,893	—	エネルギー
UNILEVER INDONESIA TBK PT	456	1,249	6,357,410	53,402	—	家庭用品・パーソナル用品
PAKUWON JATI TBK PT	31,954	120,322	7,700,608	64,685	—	不動産
NIPPON INDOSARI CORPINDO TBK	11,155	—	—	—	—	食品・飲料・タバコ
MITRA ADIPERKASA TBK PT	3,839	9,957	6,521,835	54,783	—	小売
CIPUTRA DEVELOPMENT TBK PT	10,007	22,142	2,634,898	22,133	—	不動産
ACE HARDWARE INDONESIA	—	52,145	6,283,472	52,781	—	小売
SURYA CITRA MEDIA PT TBK	6,267	7,831	1,918,595	16,116	—	メディア
小計	株数・金額	75,475	262,908	54,048,650	454,008	
	銘柄数<比率>	9	9	—	<20.5%>	
(ベトナム)			千ベトナムドン			
GEMADEPT CORP	750	750	3,195,000	15,975	—	運輸
小計	株数・金額	750	750	3,195,000	15,975	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.7%>	
合計	株数・金額	132,532	393,257	—	2,127,206	
	銘柄数<比率>	49	50	—	<96.1%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2017年12月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 2, 127, 206	% 95. 2
コール・ローン等、その他	106, 370	4. 8
投資信託財産総額	2, 233, 576	100. 0

(注) 期末における外貨建純資産 (2, 130, 309千円) の投資信託財産総額 (2, 233, 576千円) に対する比率は95. 4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113. 65円	1 シンガポールドル=83. 97円	1 マレーシアリングギット=27. 81円	1 タイバーツ=3. 48円
1 フィリピンペソ=2. 25円	100インドネシアルピア=0. 84円	100ベトナムドン=0. 50円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年12月11日現在)

○損益の状況 (2017年6月13日～2017年12月11日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2, 233, 576, 190
コール・ローン等	105, 746, 500
株式(評価額)	2, 127, 206, 539
未収配当金	623, 151
(B) 負債	19, 647, 656
未払解約金	19, 647, 517
未払利息	139
(C) 純資産総額(A-B)	2, 213, 928, 534
元本	1, 861, 853, 068
次期繰越損益金	352, 075, 466
(D) 受益権総口数	1, 861, 853, 068口
1万口当たり基準価額(C/D)	11, 891円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	8, 953, 495
受取配当金	8, 973, 489
受取利息	429
支払利息	△ 20, 423
(B) 有価証券売買損益	164, 835, 296
売買益	198, 665, 888
売買損	△ 33, 830, 592
(C) 保管費用等	△ 2, 694, 795
(D) 当期損益金(A+B+C)	171, 093, 996
(E) 前期繰越損益金	15, 994, 783
(F) 追加信託差損益金	173, 444, 308
(G) 解約差損益金	△ 8, 457, 621
(H) 計(D+E+F+G)	352, 075, 466
次期繰越損益金(H)	352, 075, 466

<注記事項>

- ①期首元本額 763, 940, 239円
 期中追加設定元本額 1, 206, 078, 111円
 期中一部解約元本額 108, 165, 282円
 また、1口当たり純資産額は、期末11, 891円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

海外株式セレクション(ラップ向け)	65, 531, 004円
アセアン真成長株式ファンド	1, 753, 774, 872円
アセアン真成長株式ファンド(ラップ向け)	21, 016, 954円
アドバンスト・バランスⅠ(FOF s用)(適格機関投資家限定)	4, 637, 146円
アドバンスト・バランスⅡ(FOF s用)(適格機関投資家限定)	16, 893, 092円
合計	1, 861, 853, 068円

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。